

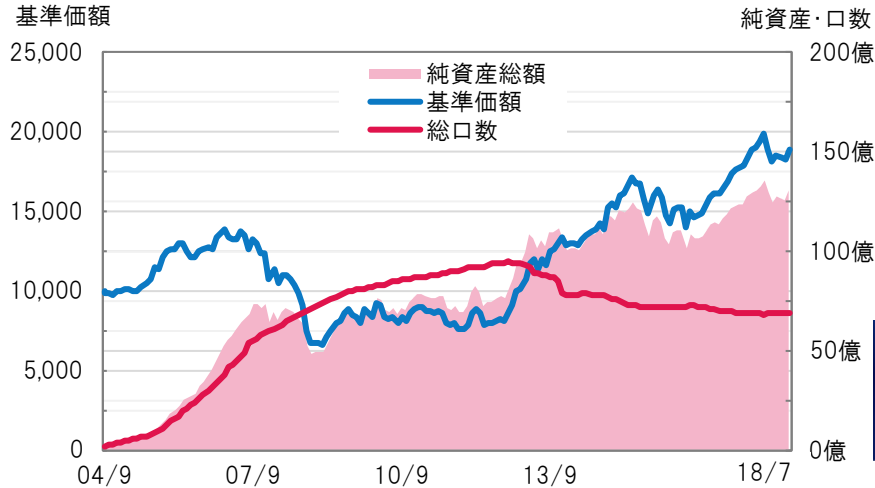


ありがとうファンド 月次運用レポート

第168号②【基準日 2018年7月31日】



◆基準価額の推移



◆ファンドの情報

基準価額	18,946円
純資産総額	130億65百万円
口座数	4,779
積立割合	53.8%

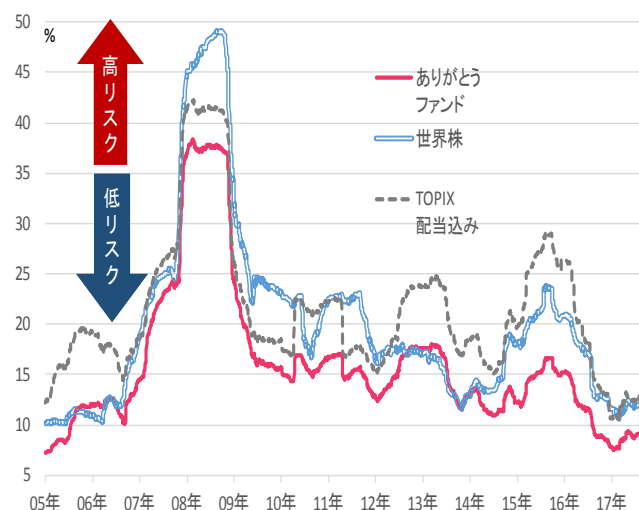


◆ファンドの騰落率

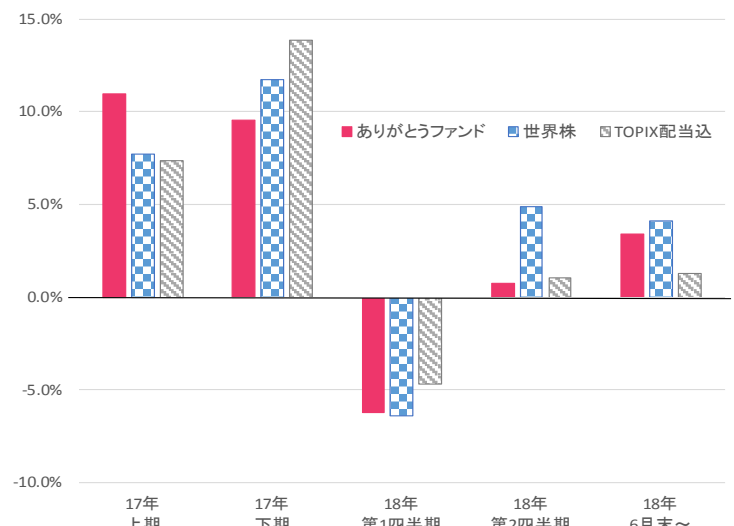
ファンド/参考指数	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来	年率複利
ありがとうファンド	+3.4%	+2.2%	▲4.7%	+6.2%	+13.2%	+58.4%	+89.5%	4.70%
世界株 (MSCI ACWI, 円)	+4.1%	+5.1%	▲0.1%	+13.0%	+18.8%	+80.2%	+203.3%	8.30%
TOPIX配当込み	+1.3%	▲1.1%	▲3.4%	+10.6%	+12.6%	+71.6%	+99.9%	5.10%

※「年率複利」は、過去の実績値であって将来の成績を保証するものではなく、またお客様ごとの購入時期によって運用結果は異なります。「年率複利」と「標準偏差」については、ありがとうファンド設定来(2004年9月1日)からのデータを基に、弊社にて計算しております。参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

◆値動きの大きさの推移(250営業日リスク推移)



◆騰落率比較(2017年年初～)

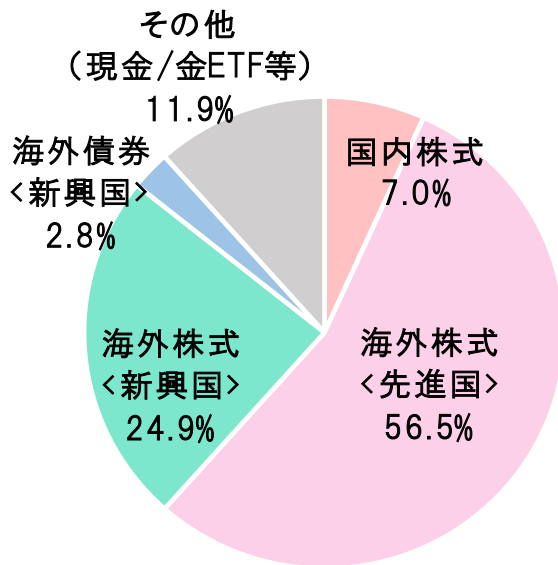


※値動きの大きさの推移について: 設定来の日次リターンを基に過去 250 営業日のリスク(日次リターンの標準偏差の年率換算値)の推移を表したものです。簡単に説明すると、数値が高いほど日々の値動きの幅が大きいことを表し、逆に数値が低いほど日々の値動きの幅が小さいことを表します。ありがとうファンドは値動きの幅を低位に抑える運用を心掛けています。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

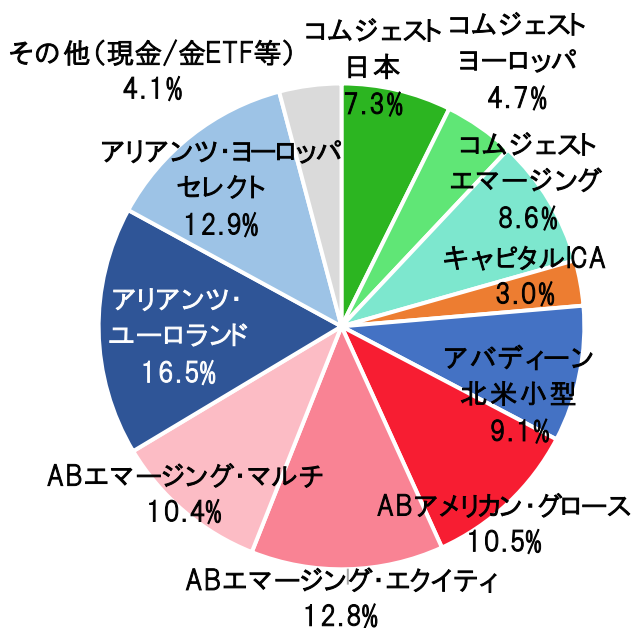
◆資産配分(6月末時点)



地域・資産	組入比率	基準値	基準比
国内株式	7.0%	6%	+1.0%
海外株式<先進国>	56.5%	55%	+1.5%
海外株式等<新興国>	27.6%	33%	-5.4%
その他(現金/金ETF等)	11.9%	6%	+5.9%



◆ポートフォリオ(7月末時点)



◆アクティブシェア(5月末時点)

ファンド名(略称)	アクティブシェア※	参考指数
コムジェスト日本株式	87%	TOPIX
コムジェストヨーロッパ	92%	MSCIヨーロッパ
コムジェストエマージング	89%	MSCIエマージングマーケット
キャピタルICA	開示なし	開示なし
アバディーン北米小型	95%	ラッセル2000
ABアメリカン・グロース	66%	ラッセル1000グロース
ABエマージング・エクイティ	71%	MSCIエマージングマーケット
ABエマージング・マルチ	株式75% 債券23%(注1)	なし
アリアンツ・ユーロランド	70%	S&Pユーロゾーン・ ラージミッドキャップ・グロース
アリアンツ・ヨーロッパセレクト	68%	S&Pヨーロッパ・ ラージキャップ・グロース

※アクティブシェアとは、各ファンドのベンチマークもしくは参考指数に対して異なる割合を表しています。上記のアクティブシェアは各ファンドの運用会社の開示を基に掲載しています。注1：ABエマージング・マルチファンドについては、株式と債券複合の運用で参考指数がないため、参考までに各資産の組入比率を開示しています。

◆直近のマーケット動向について

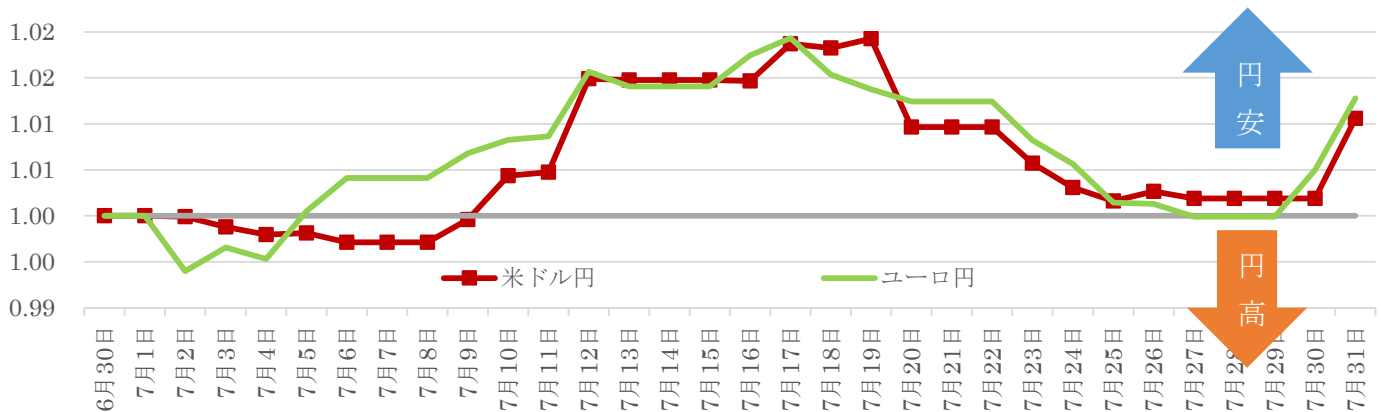


7月のマーケットはどうだったの？ニュースで黒田日銀総裁の記者会見見ただけ……これからどうなるのかしら……

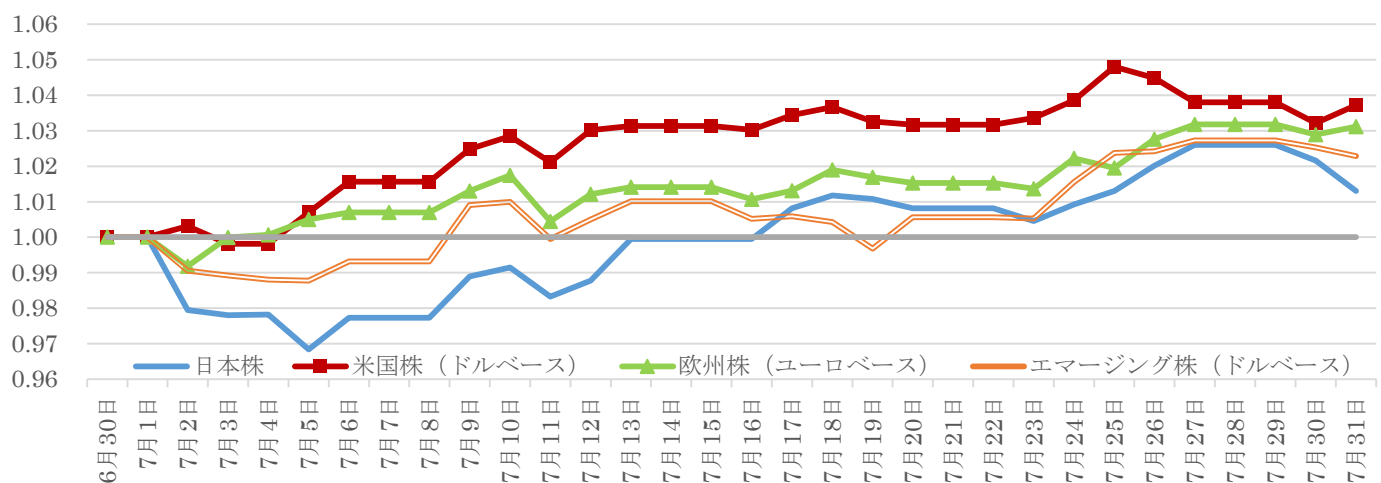


7月のマーケットの動きですが、引き続き米中貿易摩擦が懸念されながらも、世界株式市場は総じて上昇する一ヶ月でした。序盤は米中貿易摩擦激化の懸念が強まる中、総じて軟調な推移が続きました。中盤にかけては、米国が10日に発表した中国に対する2,000億ドルの追加関税リストに対して中国が報復しなかったことなどから、貿易摩擦懸念が和らぎ買い戻される展開になりました。後半では、中国が内需拡大のため積極的な財政政策を発表したこと、米欧首脳会談で自動車関税の引き下げの方向性が打ち出されたことなどが好感され、さらに上昇しました。31日に日銀が金融政策の微調整を発表しました。より粘り強く長期で金融緩和を行えるよう、いろんな理屈をつけて地ならしの為の調整に見えました。そもそも金融緩和は短期の政策だと考えているので(インフレ2%達成も2年目安で始まったものが、既に5年超えても難しそう……)、今後はますます金融緩和の副作用が目立つようになるでしょう。

【米ドル円、ユーロ円推移】2018年6月30日を1として指数化



【主要株式指数推移(配当込、現地通貨ベース)】2018年6月30日を1として指数化



※ ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて指数化しております。(使用している指数についてはレポート最終ページの注記を確認ください。)

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

上記現地通貨ベースの指数推移を参照して頂くと、前月の米中貿易摩擦懸念で下落した相場から反発上昇した一ヶ月だったことがご確認頂けると思います。



ありがとうファンドの運用はどうでしたか？



ありがとうファンドの7月月間騰落率は3.4%の上昇となりました。世界株式市場の市場平均と比べると、今月相対的に強かった米国株式の保有割合が少なかったことなどによりやや出遅れる結果になりました。

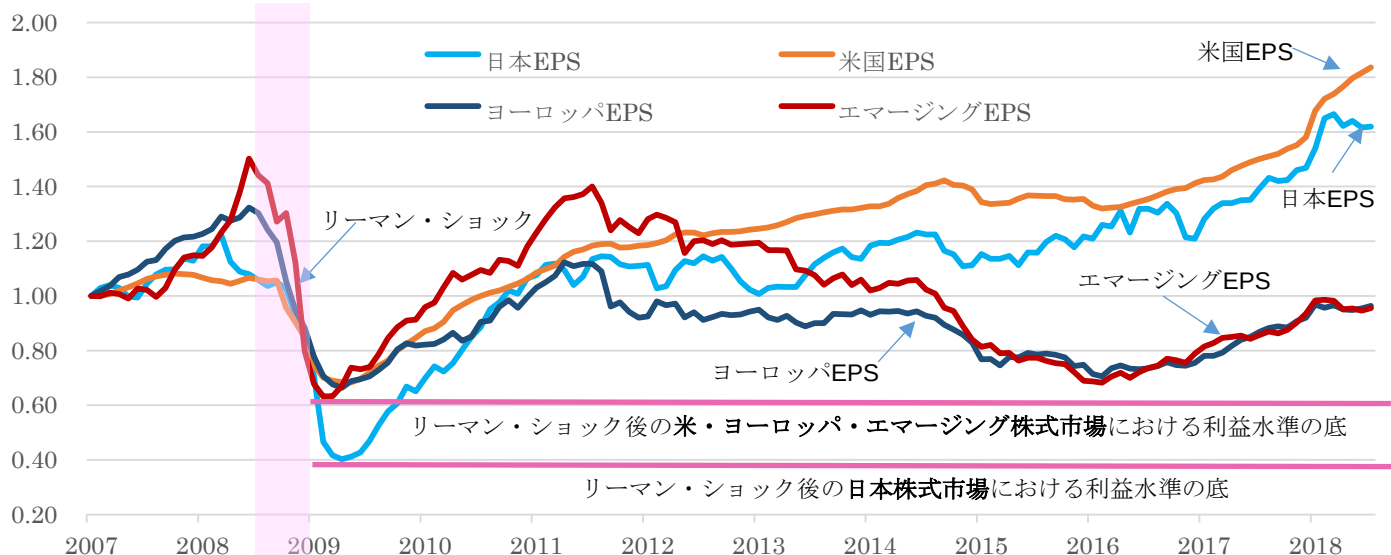
7月中の売買状況については、米国大型株を投資対象とするキャピタルICAを一部売却し、北米小型株を投資対象とするアバディーン北米小型ヘススイッチングしました。米国大型株のみの運用から小型株を一部組み入れることによりさらなる分散効果を狙えると考えております。また、昨年からありがとうファンド全体の信託報酬を下げるべく、信託報酬が安くかつ優れた運用パフォーマンスを有するファンドの組入を開始した背景から、コムジェスト・ヨーロッパをアリアンツ・ヨーロッパセレクトへ、コムジェスト・エマージングをABエマージング・エクイティヘススイッチングしました。



今後の見通しについてはどうなっているのかね？教えてもらえないだろうか。



今後の見通しについては、各種地政学リスクなど一過性のイベントはあるものの世界経済は引き続きリーマン・ショックからの回復・成長が続くと考えています。ファンダメンタルズの改善に基づいた企業利益の成長がより注視される市場になるでしょう。下図ではリーマン・ショック前からの4国・地域のEPS(1株当たり利益)の水準をまとめました。足元5年ほど低迷していたエマージング市場とヨーロッパ市場は底を打ち活気を取り戻しはじめたように見えます。



出所：ファクトセットよりありがとう投信計算、EPSは2007年1月末を1として指数化し2018年7月末までの推移

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

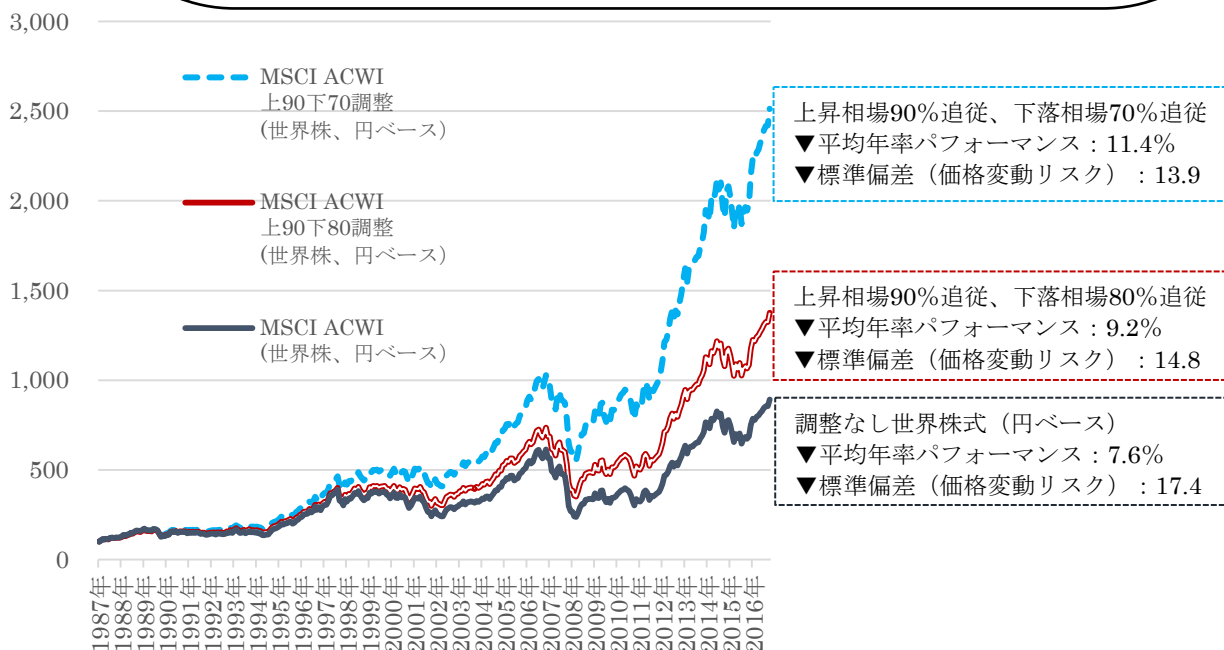
このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。



今後の運用方針についてはどうなっているのかしら。教えてちょうだい。

株式市場という観点から足元の状況を考えると、リーマン・ショック後各国・地域は量的緩和などの金融緩和で各々の経済・市場を支え世界的にカネ余りの状況が続いています。リターンを求めてやや過熱感のある市場も出てきました。このような環境下では一つの市場だけに投資することはリスクが高く、特定の市場に過度に偏ることなく幅広く分散投資することにより長期的に持続性のあるリターンを享受できると考えております。ありがとうファンドでは、世界経済の成長をグローバル市場で競争力のある企業の成長に沿った形で享受できるよう、国際分散・厳選・長期投資を継続していきます。

アクティブファンドというと上昇局面で大きく稼ぐといった様な派手なイメージが強いと思いますが、ありがとうファンドでは上昇局面で無理に上値を狙うといった運用よりは市場全体が下落する局面にて市場相対で下げ幅を抑制することにより結果的に長期で安定したパフォーマンスを提供できると考えております。その源泉としては、①実績のある投資先ファンドによる成長企業の厳選、②国・地域別資産配分の見直し・調整、③金 ETF など株式市場と相関が低い資産を組み入れることによる資産分散を主に考えております。下図はあくまでも参考までにですが、上昇局面では90%ほど市場に追従し、下落局面では下落幅を抑制した場合のバックテスト例になります。ダウンサイドリスクを抑制することにより、長期で価格変動リスクを抑えながら運用パフォーマンスを向上できたことが確認いただけると思います。



パフォーマンス

価格変動リスク

出所：ファクトセットよりありがとう投信計算、株価は1987年年初を100として指数化し2017年9月末までの推移

注：上昇・下落局面は月次騰落率ベースで判断。平均年率パフォーマンスと標準偏差についても月次ベースのデータから計算

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

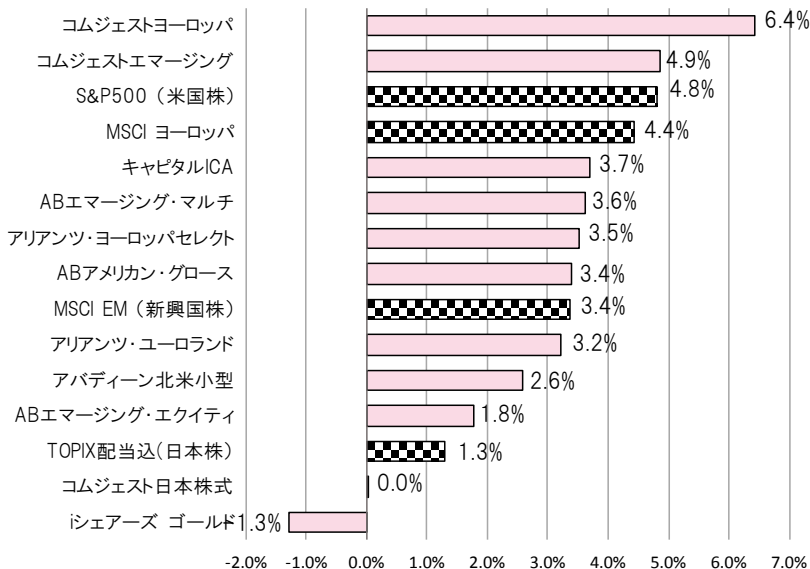


投資先ファンドの状況についても気になる！教えて！教えて！

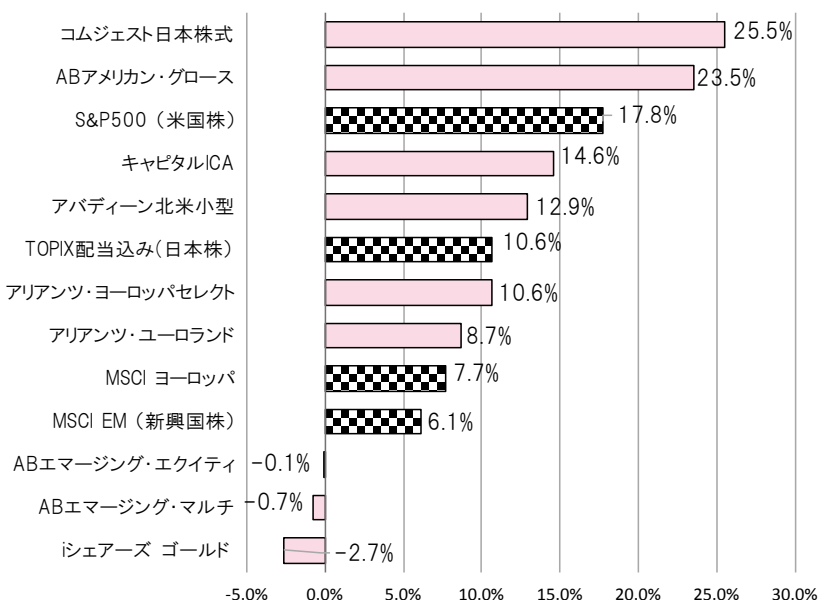


まずは、投資先ファンドの月間と年間の騰落率(円ベース比較)をご覧ください(2018年7月末時点)

【月間騰落率】



【年間騰落率】



※ 上記参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、

弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

月間騰落率については、ヨーロッパ株式を主な投資対象としているコムジェスト・ヨーロッパファンドと新興国株式を主な投資対象としているコムジェスト・エマージング、AB エマージング・マルチファンドが各種参考指数(円ベース)に対しアウトパフォームし、ありがとうファンドの基準価額上昇に貢献しました。一方、北米株式を主な投資対象としているABアメリカン・グロースとアバディーン北米小型ファンドが米国株式市場全体の上昇に出遅れる形になりました。ABアメリカン・グロースでは、指数と比較して今月大きく値を下げたフェイスブックを多く保有していたことなどがマイナス要因になりました。フェイスブック株価の急落は同社決算にて成長率が鈍化する見通しを発表したためですが、成長率鈍化は新たなEUの規制対応などの影響で短期的な問題だと考えます。同社では過去にもPCからスマホ等モバイルへのシフトなど大規模な移行を経験しており、今回の変更についても構造的な問題ではないと考えます。アバディーン北米小型については、米国内で稼ぐ比較的小さな企業に投資しているため、米国内企業に有利なニュースフローが出ると上昇する傾向があります。今月は米中貿易摩擦が和らぐ展開になり、米国内で稼ぐ小型株よりグローバル市場で稼ぐ大型株が買われたため、やや出遅れた形になりました。このような相場で、大型株(キャピタルICA)から小型株へスイッチングしました。

マーケットが楽観的な時も悲観的な時も、長期投資はじっくりコツコツ続けていくことが大切です！時間を味方につけて、一緒に国際分散投資で資産運用していきましょう！何かご不明な点がございましたら、お気軽に弊社までお問合せください。（ありがとうファンド運用担当者）



◆投資先ファンドの運用パフォーマンス

#	投資先ファンド	主要投資地域	組入比率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	年率複利(5年)
1	コムジェスト日本株式	日本	7.3%	+0.0%	+2.4%	+0.0%	+25.5%			
	TOPIX 配当込み			+1.3%	▲1.1%	▲3.4%	+10.6%	+12.6%	+71.6%	+11.2%
2	ABアメリカン・グロース	米国	10.5%	+3.4%	+9.8%	+6.0%	+23.5%	+34.0%	+147.6%	+19.5%
3	キャピタルICA	米国	3.0%	+3.7%	+7.6%	+1.4%	+14.6%			
4	アパティーン北米小型	米国	9.1%	+2.6%	+7.8%	+3.1%	+12.9%	+28.4%	+111.1%	+15.8%
	S&P500 (米国、円)			+4.8%	+9.3%	+3.3%	+17.8%	+28.7%	+110.9%	+15.8%
5	コムジェスト ヨーロッパ	欧州	4.7%	+6.4%						
6	アリアンツ・ユーロランド グロース	欧州	16.5%	+3.2%	+3.0%	▲2.8%	+8.7%	+14.9%	+71.6%	+11.2%
7	アリアンツ・ヨーロッパ セレクト	欧州	12.9%	+3.5%	+5.6%	▲1.3%	+10.6%	+10.0%	+68.5%	+10.8%
	MSCI EUROPE (ヨーロッパ、円)			+4.4%	+1.8%	▲2.2%	+7.7%	+4.4%	+52.3%	+8.6%
8	コムジェスト エマージング	エマージング	8.6%	+4.9%						
9	ABエマージング ・エクイティ	エマージング	12.8%	+1.8%	▲4.5%	▲11.3%	▲0.1%	+10.7%		
10	ABエマージング ・マルチ	エマージング	10.4%	+3.6%	▲2.0%	▲10.2%	▲0.7%	+10.3%	+44.4%	+7.5%
	MSCI EM (新興国株、円)			+3.4%	▲3.2%	▲9.5%	+6.1%	+18.1%	+49.7%	+8.3%
11	シェアーズ ゴールド・ トラスト	金ETF	1.5%	▲1.3%	▲4.8%	▲6.8%	▲2.7%	+0.3%	+3.9%	+0.8%

注：参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

積立投資のメリット



◆取得単価を平準化

◆時間分散でリスクを低減

◆長期で投資を継続しやすい

◆各投資先ファンドの組入銘柄 TOP5

◎コムジェスト日本株式ファンド

マザーファンド株式組入上位5銘柄

銘柄	国	業種	事業内容	7月31日時点 組入比率
1 シスメックス	日本	ヘルスケア	血液検査、免疫血清検査、尿検査、生化学検査等に必要な機器・試薬や、これらに関連するソフトウェアなどの研究開発から製造・販売・サービス＆サポートまでを手がける臨床検査の総合メーカー。	4.2%
2 スタートトゥデイ	日本	一般消費財・サービス	日本最大級のファッション通販サイト「ZOZOTOWN」を運営。2018年3月末で11111ショップ、6443ブランドを取扱い、年間購入者数は722万人。	4.1%
3 ファーストリテイリング	日本	一般消費財・サービス	カジュアル衣料専門店「ユニクロ」をグローバルに展開する。近年はアジアなど海外での店舗数拡大を加速	3.9%
4 ポーラ・オルビスホールディングス	日本	生活必需品	大手化粧品会社グループ。高級スキンケア中心のポーラ、オイルカット(無油分)コンセプトに基づく中価格帯スキンケア中心のオルビスを主軸に、複数ブランドを展開する。	3.9%
5 ピジョン	日本	生活必需品	育児用品の大手。主力商品の哺乳器では国内で7割超のシェアを持ち、おしりふきや母乳パッドなど幅広い商品を扱う。介護用品の仕入・販売、保育所の運営など子育て支援サービスも展開。海外進出にも積極的。	3.3%

◎コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド

マザーファンド株式組入上位5銘柄

銘柄	国	業種	事業内容	7月31日時点 組入比率
1 アマデウスITグループ	スペイン	情報技術	旅行予約管理からチェックインなどのプロセス管理まで旅行業に特化したトラベルテクノロジー企業	6.8%
2 インディテックス	スペイン	一般消費財・サービス	日本ではZARAで有名、世界のファッション・アパレルのリーディングカンパニーの一つ	6.1%
3 コロプラスト	デンマーク	ヘルスケア	1957年にデンマークで誕生したグローバルヘルスケア企業。ストーマケア製品に強み	5.4%
4 エシロールインターナショナル	フランス	ヘルスケア	光学製品メーカー、世界56か国に展開、遠近両用レンズのVariluxで有名	5.1%
5 ギルトリウス・ステディム・バイオテック	フランス	ヘルスケア	ナイロン袋製造会社。病院や研究所で使用する滅菌溶液、および処方薬の袋などの製造に強み	4.1%

◎コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド

マザーファンド株式組入上位5銘柄

銘柄	国	業種	事業内容	7月31日時点 組入比率
1 台湾セミコンダクター(TSMC)	台湾	情報技術	世界最大の半導体専業ICファブリーメーカー	6.1%
2 コグニザント・テクノロジー・ソリューションズ	アメリカ	情報技術	情報技術(IT)、コンサルティング、ビジネスプロセス・アウトソーシングの各サービスを提供する。	5.1%
3 ピンアン・インシュアランス(中国平安保険)	中国	金融	生命保険、損害保険、銀行、証券等の事業を手掛ける中国の金融機関。	4.7%
4 チャイナ・ライブ(中国人寿保険)	中国	金融	中国北京に本社を置く生命保険会社、中国各地に代理店網を形成	4.3%
5 ネットイーズ(網易)	中国	情報技術	オンラインゲームやインターネットサービスを手掛ける。オンラインゲーム事業、広告サービス事業、電子メール・無線付加価値サービス・その他事業の3事業を展開。	3.9%



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

◎キャピタル・グループ・インベストメント・カンパニー・オブ・アメリカ(ICA)

銘柄				事業内容	6月30日時点 組入比率
1	AbbVie	アメリカ	ヘルスケア	研究・開発に重点的に取り組むバイオ医薬品会社。幅広い独自医薬品の発見、開発、製造、販売を行う。	5.6%
2	MICROSOFT	アメリカ	情報技術	Windowsに代表される基本ソフト(OS)を開発し、各種デバイス(PCやタブレット他)、サーバ、携帯電話、インテリジェントデバイス向けに提供。また、パソコン、タブレット、携帯電話、ゲーム機などの製品も開発、販売している。	3.4%
3	ALPHABET, INC.	アメリカ	テクノロジー	グーグルの新たな持株会社として、2015年10月2日に設立された。新運営体制におけるグーグルのメイン事業(グーグル事業)には、検索、広告、地図、アプリ、YouTube、Android(アンドロイド)および関連技術インフラが含まれる。	3.1%
4	AMAZON	アメリカ	一般消費財	オンラインの小売事業者。オンライン広告や提携クレジットカード契約など、他のマーケティングや販売促進サービスも提供する。	2.2%
5	WELLS FARGO	アメリカ	金融	総合金融サービス会社。銀行、保険、投資、モーゲージ、リース、クレジットカード、消費者金融などを手掛ける。実店舗、インターネット、その他流通網を通じ、世界で事業を展開。	2.0%

◎アライアンス・バーンスタイン・アメリカン・グロース・ポートフォリオ

銘柄				事業内容	6月30日時点 組入比率
1	ALPHABET, INC.	アメリカ	テクノロジー	グーグルの新たな持株会社として、2015年10月2日に設立された。新運営体制におけるグーグルのメイン事業(グーグル事業)には、検索、広告、地図、アプリ、YouTube、Android(アンドロイド)および関連技術インフラが含まれる。	8.6%
2	FACEBOOK, INC. Class A	アメリカ	テクノロジー	SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス=交流サイト)の「フェイスブック」を運営。利用者は、「フェイスブック」を利用することで、家族や友人と情報を共有したり、コミュニケーションをとることができる。	7.8%
3	VISA, INC. Class A	アメリカ	金融サービス	グローバルなペイメント(決済)テクノロジー会社。高速かつ安全、信頼性の高い電子決済で消費者、企業、銀行、政府、地域を結び役割を果たす。	5.2%
4	UNITEDHEALTH GROUP, INC.	アメリカ	ヘルスケア	医療保険、ソフトウェア、データコンサルティングサービスを提供する。	4.4%
5	HOME DEPOT, INC.	アメリカ	一般消費財	建築資材やホームインフラメント(住まいを良くするための)製品を販売するホームセンター。豊富な種類の各種建築資材、ホームインフラメント製品、芝生&ガーデニング用製品を販売するほか、多くのサービスを提供する。	4.2%

◎アライアンス・バーンスタインSICAV I -エマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオ

銘柄				事業内容	6月30日時点 組入比率
1	TENCENT HOLDINGS LTD.	中国	情報技術	中国のインターネットサービス会社の大手。ソーシャルプラットフォームを運営するほか、デジタルコンテンツサービスを提供する。VAS(付加価値サービス)、インターネット広告、その他の3セグメントで事業を展開。	6.0%
2	SAMSUNG ELECTRONICS CO., LTD.	大韓民国	情報技術	電子機器やコンピュータ関連製品の製造・販売を手掛ける。事業部門は、民生エレクトロニクス、IT(情報技術)・移動体通信、デバイス・ソリューションの3つ。	4.2%
3	51JOB, INC.(ADR)	中国	情報技術	中国の人材サービス会社でインターネット・紙媒体を通じた求人広告サービスを提供する。名前の由来について、「五十一」と「我想要的I wantの意」が、中国語での発音が近いことから、「I want a job」とかけているようです。	3.5%
4	TSMC	台湾	情報技術	世界最大の半導体専業ICファブリーメーカー	3.4%
5	LUKOIL PJSC	ロシア	エネルギー	ロシア最大級の石油会社。石油の探鉱、生産、精製、マーケティング、流通に従事している。	3.2%

◎アライアンス・バーンスタインSICAV I -エマージング・マーケット・マルチアセット・ポートフォリオ

銘柄				債券格付け、事業内容など	6月30日時点 組入比率
1	TENCENT HOLDINGS LTD.	中国	情報技術	中国のインターネットサービス会社の大手。ソーシャルプラットフォームを運営するほか、デジタルコンテンツサービスを提供する。VAS(付加価値サービス)、インターネット広告、その他の3セグメントで事業を展開。	3.5%
2	ALIBABA GROUP HOLDING LTD.	中国	情報技術	インターネット・インフラ、eコマース、オンライン金融、インターネット・コンテンツなどのサービスを提供する。世界各国で製品およびサービスを提供。	3.3%
3	SAMSUNG ELECTRONICS CO., LTD.	大韓民国	情報技術	電子機器やコンピュータ関連製品の製造・販売を手掛ける。事業部門は、民生エレクトロニクス、IT(情報技術)・移動体通信、デバイス・ソリューションの3つ。	2.4%
4	MARUBENI CORP.	日本	資本財	総合商社としては、比較的バランスのとれた事業ポートフォリオを持つ。強みを持つ分野は、資源・エネルギー分野で銅の上流権益、食料で穀物分野、海外電力事業など。	2.3%
5	INDUSTRIAL BANK OF KOREA	大韓民国	金融	総合銀行。国内中小企業向け開発融資・関連銀行業務に従事する。主な業務は、融資、割引手形、貿易融資、預金、為替、支払保証など。クレジットカード、保険、スマートフォンバンキングなどの業務も手掛ける。	2.2%

◎アリアンツ・ユーロラント・エクイティ・グロース

銘柄				事業内容	6月30日時点 組入比率
1	SAP SE	ドイツ	情報技術	エンタープライズ・アプリケーション・ソフトウェア(EAS)の分野で世界を代表する企業。数多くの製品と関連サービスを世界各国で提供する。	6.3%
2	AMADEUS IT GROUP SA	スペイン	情報技術	旅行予約管理からチェックインなどのプロセス管理まで旅行業に特化したトラベルテクノロジー企業	5.4%
3	ASML HOLDING NV	オランダ	情報技術	半導体業界向けのリソグラフィシステムの製造、取引を手がけるほか、集積回路やチップの製造に使用される装置を開発する。	4.7%
4	KINGSPAN GROUP PLC	アイルランド	素材	建築資材メーカー。高品質の断熱材と建物外面システムを世界各国で販売する。	4.4%
5	INFINEON TECHNOLOGIES AG	ドイツ	情報技術	自動車や産業用電力、チップカード、セキュリティ向けの半導体やシステムソリューションの製造を手掛ける。自動車、産業用電力制御、マルチマーケット電力管理、チップカード・セキュリティ、その他の各部門を通じ事業を展開。	4.4%

◎アリアンツ・ヨーロッパ・エクイティ・グロース・セレクト

銘柄				事業内容	6月30日時点 組入比率
1	SAP SE	ドイツ	情報技術	エンタープライズ・アプリケーション・ソフトウェア(EAS)の分野で世界を代表する企業。数多くの製品と関連サービスを世界各国で提供する。	6.8%
2	INFINEON TECHNOLOGIES AG	ドイツ	情報技術	自動車や産業用電力、チップカード、セキュリティ向けの半導体やシステムソリューションの製造を手掛ける。自動車、産業用電力制御、マルチマーケット電力管理、チップカード・セキュリティ、その他の各部門を通じ事業を展開。	5.2%
3	NOVO NORDISK A/S-B	デンマーク	ヘルスケア	90年以上にわたり糖尿病ケアの革新をリードしてきた製薬会社。インスリンのマーケットシェアは5割前後に至る。	4.6%
4	PRUDENTIAL PLC	イギリス	金融サービス	保険と金融サービスを手がける持株会社。アジア、米国、英国で主要な活動を行う国際金融サービスグループとして、リテール向けの金融商品・サービスと資産運用サービスを提供する。	4.6%
5	DSV A/S	デンマーク	資本財	運輸グループ持株会社。トラック、船舶、航空輸送サービスや倉庫・ロジスティクスなどのサービスを手掛ける。欧州、北米、極東地域で事業を展開する。	3.9%

◎アバディーン・グローバル・ノースアメリカン・スモーカーカンパニーズ・ファンド

銘柄				事業内容	6月30日時点 組入比率
1	WSFS FINANCIAL CORP	アメリカ	金融	主要子会社である Wilmington Savings Fund Society, FSB を通じ、米国デラウェア州のニューキャッスル郡やドーバー市のほか、ペンシルベニア州のチェスター、デラウェア、モンゴメリーの各郡にある店舗網を運営。	3.1%
2	EMERGENT BIOSOLUTIONS INC	アメリカ	ヘルスケア	グローバルな特殊バイオ医薬品メーカー。生物学的・化学的脅威や新興感染症用の医療対策の製品ポートフォリオを開発、製造、提供する。病院、診療所向けに治療法やその他特殊製品の開発・商品化も手掛ける。	3.0%
3	NEENAH INC	アメリカ	素材	グローバルな製紙会社。さまざまな用途に使用される高級紙、用途別用紙、および特殊製品を製造する。米国とドイツで事業を展開する。	2.7%
4	SENSIENT TECHNOLOGIES CORP	アメリカ	素材	化学品メーカー。着色剤・着色料・香料を供給する。インクジェットプリンター用インク、化粧品・医薬品用添加剤、食品・飲料用香料の製造を手掛ける。	2.7%
5	BOSTON PRIVATE FINANCIAL HOLDINGS INC	アメリカ	金融	子会社を通じ、米国内外の顧客を対象にさまざまな銀行業務、商業・住宅ローン業務のほか、信託や投資運用サービスを提供する。	2.6%

◆ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.972% (税抜 0.9%) の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.6% ± 0.2% (概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	当ファンドに組み入れるファンドを売買する際に発生する売買委託手数料およびこれにかかる消費税相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。 ※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信(株)カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】 騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。
TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。
※資料に記載されている各国・地域市場の指数は他に断りの無い限り以下の指数を使用しています。

【日本株】→TOPIX配当込み

【世界株】→MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックストータルリターン

【米国株】→S&P500 トータルリターン

【欧州株】→MSCI ヨーロッパ トータルリターン

【エマージング株】→MSCI エマージング トータルリターン



■R&I ファンド大賞について

「R&I ファンド大賞」は、R&I が信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&I が保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&I に帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。